

第8章 労働日 第7節 標準労働日のための闘争。

イギリス工場立法の他の諸国への反応

p207-(これまで見てきたこと)? 剰余価値の生産または剰余労働の抽出が、資本主義的生産の特殊の?内容を目的をなす…われわれの歴史的素描…法律的未成年の労働が主役…労働搾取の特別な領域…

(結論・まとめ)

p208-第1に、まさきに革命された諸産業(4産業)において…労働日の無制限無容赦な延長に 対する資本の衝動がまず満足させられ…それに対する社会的取り締まり…例外的立法として 現れる。

・(それがやがては)古くさい経営様式…工場手工業…家内労働さえも…工場工業と違わない ほど甚だしく、資本主義的搾取に帰していた(一般化した)。

※(ローマ的)決疑論… 決疑論 は、一般的な宗教ないし道德上の規範を特殊・個別の事例 に適用するに際し、類推によって一定の結論を得るための実践的な判定法である。?

・(工場)法的には、…労働の行われる何らかの家屋も…工場と解釈されるようになった?

p209-10 第2に、…標準労働日の創造は…資本家階級と労働者階級との…長期間の…市民戦争 の産物である。この闘争は、…初めはまず近代産業の祖国であるイギリスで演ぜられる。

・ユアは、資本家は「労働の完全な自由」のために男らしく戦ったが、労働者階級は「工場 法という奴隷制度」を旗印にしたことは、拭いがたい汚辱と非難する。

※工場哲学者ユア …アンドリュウ・ユア。ユアにとって自動化された近代的な工場設備を 整えた製造業の最も典型的な事例が綿製造業だった。「電子計算機の祖」とも 旗幟…きし。 旗と幟 (のぼり)。主義主張。「旗幟を鮮明にする

(フランス、アメリカへの拡がり)

p211-フランスはイギリスの後から…12時間法にはフランス2月革命が必要だった。

※フランス2月革命… 1848年のフランス革命。以前のブルジョワ主体の市民革命から、プロレタリアート主体の革命へと転化した。6月パリの労働者が蜂起するが失敗し、反動化、最終的にルイ・ナポレオンが大統領に。

p212-北アメリカ合衆国では…南北戦争の第1の成果は…8時間法運動であった。

1866年8月ボルティモアの一般労働者大会、

1866年9月ジュネーブの国際労働者大会

p214-労働者は…市場では…商品所有者対商品所有者であったが…それは自由な行為者ではな かった…売ることを強制されていた…ことが発見される。

・労働者は結集せねばならない…一つの国法=資本との自由意志による契約で、自己と同族 を死と奴隷状態とに売り渡すことを阻止する超強力的社会的保証を、階級として、奪い取ら ねばならない。

・「奪うべからざる人権」のかわりに、「法律によって制限された労働日の、地味な大憲章が 現れる。」